



地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを推進するため「地域の力(考え)で地域を育てる」地まぢづくりをすすめています。市内各地域のまちづくり活動団体によって取り組まれている地まぢづくりの活動を地まぢのチカラで情報発信します。

《 R 6 助成団体が決定！ 》

地まぢNEWS

本年度も地域まちづくり支援制度 活動助成(スタートアップ助成、成長支援・実践活動助成)の募集を行い、助成団体を決定しました。皆さんの熱意あふれる活動を精一杯応援してまいります！

● スタートアップ助成

<助成団体>

私設図書館もん (名東区)
 名東プレーパークの会 (名東区)
 こだまプラス (西区)
 いしきマルシェ実行委員会 (中川区)
 ちいきのいま aimaima (名東区)
 かさでらのまち編集室 (南区)

上志段味ゆるさぼ (守山区)
 マチゾラ シンサカエマチ (東区)
 かみやしろ居場所づくり同好会 (名東区)
 かさでら図書館運営委員会! (南区)
 ふれあいガーデニングクラブ (南区)
 フェーズフリーな防災企画チーム (平時と有事をワンセット) (緑区)
 ほうせいだんちーず (中川区)

多数の申請があり、書類選考の結果13団体を助成団体として決定しました。6団体が初申請団体。地域での交流や居場所づくり、災害に備えた活動など、想いのこもった様々な提案がありました。

● 成長支援・実践活動助成

<助成団体>

特定非営利活動法人市民まちづくり風の会 (中区)
 名駅四丁目まちづくり協議会 (中村区)
 鶴舞・千種エリアマネジメント協議会 (千種区・中区)
 藤が丘まちづくり協議会 (名東区)
 星崎学区連絡協議会 (南区)
 明治・内田橋堀川まちづくり協議会 (南区)
 名駅東花車・船入地区まちづくりの会 (中村区)

選考会の様子



今回は7件の申請があり、書類審査及び 6月9日(日)のプレゼン審査にて全団体を助成団体として決定しました。5団体が構想づくり活動助成での採択。どの団体も、活動を進めるにつれどんどん規模が大きくなっているのを感じました。

地まぢチャレンジ まちづくりを行う“人”にフィーチャーしたインタビュー



49人目 浅井 裕雄さんのご紹介

椋山女学園大学生生活科学部
 生活環境デザイン学科 准教授

高本雅好さん

大学でインテリアプロダクト分野を教えながら、名東区の西山商店街に新しくできた「コトづくり研究所」を含む複数の建築の企画提案・設計・施工などに携わっている高本さん。椋山女学園大学の学生らも施工などに携わっているコトづくり研究所は、料理教室、レンタルスペース、居住スペースなど様々な“コト”を詰め込んだ面白い建物です。まだオープンして日が浅いということもあり、現在は広報や運営について日々模索されているそう。元々専門としていた環境心理学がご自身の考え方の中心にあり「環境やまちの変化を人がどう捉えるか」という視点で物事を考えることが多いそうです。建築だけでなく、星が丘テラスや千種区の揚輝荘と連携しインスタレーションや展示など、学生とともに多岐にわたる活動をされている高本さんですが、その中でも現在の一番の目標はトライ＆エラーを繰り返しながらコトづくり研究所を軌道に乗せること。同様に携わった駄菓子屋「水都軒」や焼き菓子店・設計事務所などが入居する複合施設「ニシヤマナガヤ」などワクワクする施設だらけの西山商店街。高本さんの思いが詰まった施設たちがこれからどう変化し、それとともに商店街はどう変わっていくのか、楽しみにしています。

Q まちづくりに取り組んできた中でうれしかったこと

A みんなで議論して、考えたコトが実現して、笑顔が溢れた場に立ち会えたとき。

Q これから取り組みたいと考えていること

A コトづくり研究所で、みんなで、たのしいコト、あたらしいコト、おいしいコト、したいコト、をつくりたいです!

Q 最後にひとこと

A 300歩で一周できてしまう西山商店街に遊びに来てください!

